



見せてやる! オレの本気

火消魂

HI・KE・SHI

火災などの災害現場の最前線に立ち、私たちの命や財産を守ってくれる消防団。
市内には、1398人の消防団員が「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神のもと、地域における消防・防災の担い手として日頃から訓練に励んでいます。
ポンプ操法もその一つ。火災現場で迅速にそして的確に行動するための技術を身に付けることを目的として行われます。見えないところで努力を重ねる団員の「本気」と、その「本気」を見守る人の思いを、6月21日に行われた「操法大会」を通じて取材しました。

千葉県消防協会香取支部ポンプ操法大会の会場となった東庄町役場駐車場。見上げると、雨雲の間から日が差す不安定な空模様。まるで、これから始まる戦いが混沌迷する様相を暗示するかのよう。
会場に真っ赤な消防車で意気揚々と乗り込んでくる選手たち。オレンジ色のゼッケンをつけた彼らに、応援団や観客たちの注目が集まる。すでに緊迫した雰囲気は漂う開会式。戦いはもう始まっている。この空気にのまれたら負け。ちよっとの油断がミスにつながる。張りつめた空気を裂いて指揮者の声が高らかに太く響く。「火点は前方の標的、水利はポンプ右側後方——」。いよいよ幕が切つて落とされた。

小型ポンプの部 優良賞

栗源支団第1分団第3部 (西田部)



- 指揮者 片野裕也さん
- 1番員 斉藤泰裕さん
- 2番員 押田拓慎さん
- 3番員 平野雅夫さん
- 補助員 角田憲治さん

父親世代への挑戦。チームの団結力だけは負けません。

西田部地区は26年前の操法大会で優勝し、県大会に出場しました。2番、3番員の2人の親は、その時の選手でした。青年館には当時の「県大会出場」の石碑が建てられており、私たちも子どもの頃からその偉業を見て育ってきました。



部長 角田憲治さん

その石碑の隣に自分たちの「県大会出場」の石碑を建てたいという密かな目標を掲げ、心を一つに頑張ってきました。操法の練習を通し、一人一人の良さも再確認できました。特に指揮者の片野君は、練習がない日も一人黙々と練習して頑張っていました。今回、残念ながら県大会へは進めませんでした。優良賞をいただき、大役を果たした指揮者の片野君に「ご苦労様、そしてありがとう」と伝えたいです。



2番員(押田拓慎さん)の父 押田佐市さん

私たちが慕ってくれたことが何よりうれしかった。

26年前の操法大会で西田部地区から1番員として出場しました。今回、息子たちの練習を仲間と一緒に見ていましたが、当時を懐かしく思い出しながら見学していました。選手たちから石碑を建てたかったという話を聞いたときは、胸が熱くなりましたね。師弟関係だけでなく、親子のような関係を築けた気がします。地域の期待を背負い、プレッシャーもあったと思いますが、ここで培った技術は災害現場でも役立ちますし、何より仲間との絆がより強まったと思います。

ポンプ車の部 優秀賞

小見川支団第1分団第1部 (黒部川以東)



- 指揮者 伊藤亮輔さん
- 1番員 狐塚寛之さん
- 2番員 田上和弥さん
- 3番員 鎌形裕介さん
- 4番員 菅谷淳志さん
- 補助員 多田祐樹さん



伊藤亮輔さんの妻 伊藤幸代さん

我が家に訪れた二つの喜び。家族の絆が強まりました。



部長 伊藤亮輔さん

婿入りした自分を受け入れてくれた消防団。支えてくれた家族に感謝です。

大会の6日後に子どもが生まれました。8年ぶりの出産のため、少し不安もあり、夫が選手に選ばれて、仕事で毎日遅い夫の体も心配でした。でも、夫は練習もこなしながら、出産近い私のことを気づかってくれました。当日は応援に行きたかったのですが、臨月のため断念。優勝の一報を受けた時は、頑張る姿を見てきただけに本当にうれしかったです。今は家族で「操法大会」と「出産」を乗り越え、喜びもひとしおです。団活動を通して、夫がうまく地域に溶け込んでいけるのも、またうれしいです。

早朝の4時30分からの練習は正直大変でしたが、操法大会に出場したという貴重な経験を今後の人生に役立てていければと思います。私は結婚を機に、この地区にきました。団活動のおかげで皆さんの知り合いができ、また地域に貢献できるの、消防団はありがたい存在です。今回、ポンプ車の部で優勝することができましたが、家族の支えがあったから良い成績を残せました。優勝できた喜びは、一番に妻と子どもに伝えました。実は大会後に子どもが生まれ、守りたい命がまた一つ増えました。

KATORI 操法を指導した佐原消防署の大友さんに話を聞きました



佐原消防署 消防司令補 大友正勝さん

選手と一緒に、私たちが戦っています。

消防団員は、自然災害による危険な現場に向かうこともあり、家で待つ家族に心配をかけることも数多くあると思います。地域の安全を守るのも大事ですが、団員が災害現場で事故や被害に遭わないように、そして団員の家族などが悲しむことのないよう訓練指導を行っていきたくと思っています。

操法大会本番は緊張しますので、強い精神力も身に付け、緊張していても自分たちの力が100%出せるように指導しています。選手たちは、様々なプレッシャーから悩むこともあると思いますが、最後は周りにいる団員の声掛けや大きな声での応援に支えられています。私も、ポンプ操法大会に出場したチーム、協力してくれた団員の皆さんが大会終了後に男泣きできるくらいに指導していきたくと思っています。自分も会場にいたら、演技終了時点で泣いてしまったかと思えます。今回も最高のチームを指導させていただき、ありがとうございました。



▲北ノ台チームを指導する大友さん(左から2番目)



誇りを胸に 熱い 消防団員、募集

最寄りの消防署に問い合わせください。

- 岡佐原消防署 ☎(52)0119 栗源分遣所 ☎(75)2131
- 小見川消防署 ☎(83)0119 十六島出張所 ☎(56)1115
- 山田分署 ☎(78)2814

操法大会成績表



- ポンプ車の部 優秀賞…小見川支団第1分団第1部(黒部川以東)、3位…佐原第1支団第1分団第6部(八日市場)
- ◇最優秀賞 指揮者…伊藤智也さん(八日市場)、1番員…狐塚寛之さん(黒部川以東)、2番員…田上和弥さん(黒部川以東)、3番員…高安成幸さん(八日市場)
- 小型ポンプの部 優良賞(2位)…栗源支団第1分団第3部(西田部)、優良賞(3位)…山田支団第3分団第5部(小川)、4位…佐原第3支団第3分団第8部(北ノ台)、6位…佐原第2支団第2分団第5部(大割)
- ◇最優秀賞 1番員…斎藤泰裕さん(西田部)、2番員…押田拓慎さん(西田部)、3番員…平野雅夫さん(西田部)

小型ポンプの部 優良賞

山田支団第3分団第5部(小川)

- 指揮者 石毛準一さん
- 1番員 木村裕也さん
- 2番員 名雪能弘さん
- 3番員 齋藤弘樹さん
- 補助員 及川和年さん



消防団OB 佐藤信之さん

地域防災の担い手として活躍を期待します。



部長 石毛準一さん

19年前に小川地区の消防団から操法大会に指揮者で出場しました。選手たちのことは、子どもの頃から知っていますよ。だから息子のようにかわいい。団活動は退いていても、地元から出場するということが、夕方、仕事を早く終わりにして手伝いに行きました。代表として出場するのならよい成績を出してほしいですからね。

戸惑いと不安を拭き取ったのは、皆の一思いやりでした。

練習当初は戸惑いと不安しがありました。丸めたホース一つに心がこもっているように感じます。

地元の期待を背負って出場するのは大変なプレッシャーだと思えます。しかし、厳しい練習が、危険な災害現場での活動に役立つのです。後輩たちには、地域の防災リーダーとして活躍を期待します。よく頑張りました。優良賞おめでとう。

大会3日前に突如ポンプの調子が悪くなるというアクシデントもありましたが、かえって絆も強まった気がします。支えてくれた地域の皆さんの気持ちがあうれしかったです。ありがとうございます。

また、複雑多様化する災害に適切に対応するには、知識と技能の習得が不可欠です。消防団員は日々消防技術の向上を目指し、各種の災害に備えた訓練や消防施設のパトロールなどを定期的に行っています。



香取市消防団 団長 諏訪正基さん

KATORI 香取市消防団を統括する団長の諏訪さんに話を聞きました

地域に支えられているのが消防団です。

消防団は、市町村の非常備の消防機関です。その構成員である消防団員は、普段は本業の仕事を持ちながら、火災発生時には、自宅や職場から現場へ駆けつけ、消火活動を行なっています。さらに、地震や風水害といった大規模災害発生時には、救助・救出活動

動、警戒巡視、避難誘導、災害防衛活動などを行い、消防本部・消防署と一体になって市民の生命、身体および財産を守るという重要な役割を担っています。

この数字は、平成26年に消防団が出動した火災の件数と出動人数です。消防団は、年間これだけの火災に出動しています。

49件、1026人

地域の消防力と防災力を高めるため、地域行事への参加や火災予防運動などの広報活動に努めるとともに、団員一人一人が、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神と消防の団結をもって、市民の期待に応えられるよう努力をしております。